



令和7年度第3回『運営委員会』

令和7年度第3回目の『運営委員会』が
12月18日(金)午後7時から開催され主要
議事として①柘植駐在所に於ける駐在警察
官の交代について②事業活動評価表につい
て③各部会・委員会に於ける活動
進捗状況報告④伊賀町土地改良区の役員任
期満了に伴う理事・監事の選出の件⑤その他
協議事項等に関し協議致しまし



『まちづくり研修会』

地域コミュニティ組織等との連携
11月27日午後から、みえ県民交流センタ
(津市)にて自治交流会が開催されました。
『支えあい助けあう住民自治をつくる為に』
をテーマに冒頭、岩崎恭典/四日市大学名誉
教授、及び池山敦/皇学館大学准教授の基調
講演がありました。次

に【事例発表】として
三重県内から4自治協合が丘地域
にプレゼン依頼有り①

青蓮寺／百
合が丘地域
づくり協議
会(名張市)
②沼木まち
づくり協議
会(伊勢市)
③柘植地域
まちづくり



協議会(伊賀市)④宿田曾地域活性化協議
会(南伊勢町)の順で発表。柘植からは宮
田会長が発表/伊賀市柘植地域の特徴、ま
ち協設立経緯・各部会/委員会の活動状況を
説明。柘植まち協の事業の本質は「課題を
解決すると価値になり、価値提供を一過性
で終わらせる事なく継続的に届けていく様
にする事、地域・社会に貢献する様な事業
をする事」としており事業を実施する上で
「本質」を把握する為に「参加/話し合い/
連携/課題解決」がキ

ーワード。現状を知
り困っている事を把握し地域にとつて大
切なものは何か、ど
んな人材が必要か、
どんな取組みが必要
かを、現状と理想の
あるべき姿を見比べ
ながら、どんな地域
にしたいのか、「全員
参加型」で行う。そ
んなプロセスを描いて
います。「発表要旨」

柘植地域 まちづくりだより 第325号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)柘植地域俳句コーナー
蒼穹へ
山茶花紅を
溢れさせ
中西 昭子

発行日 令和八(2026)年一月三十日(金)
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

食品リサイクルの『MCS島ヶ原』見学

生活環境部会 部会長 堀田 穂



事業所は2006年9月、伊賀市島ヶ原に「堆肥化工場」を開設され、敷地面積は35,790m²、処理能力は、83・5t、一日平均処理量は40t、製品貯蔵庫は2,000m²。太陽光パネル（自家

生活環境部会では11月27日(木)10時~11時30分まで「食品関連事業者」(スーパー/ホテル/レストランなどから排出される)「食品廃棄物」を受け入れ、「堆肥化」をしていく『MCS島ヶ原』の見学会を行いました。

(消費型)設置により、工場内の消費電力の25%を補う施設でした。堆肥化の工程については、食品廃棄物の受け入れをしてから「製品」になるまでは約4ヶ月の期間をかけて製造しているとのことでした。

堆肥は、有機堆肥で健康な野菜づくりを応援しています。袋を持参して詰めて頂ければ何袋でも無料!!とのことでした。但

し軽トラック約1t積込み料金は500円かかります。(お問合せは059-59200です。)

2025年6月製作の、堆肥を材料とした「巨大壁画」(堆肥を水で溶いた絵具は雨風や紫外線の影響を受けて徐々に風化しますが、下部に設けた花壇で受け止められ植物の生育を助けます。)上記写真はその壁画の前で撮った参加者の皆さん(両端は説明して頂いたMCS島ヶ原の社員の方々です。)

食品関連事業者(排出事業者)から見た食品リサイクル(堆肥化)をすることのメリットは、①食品ロスの減量や循環資源の有効利用②食品リサイクル法の適合③環境負荷低減対策④企業イメージのアップです。イメージとしては、廃棄物から資源に取り組むことが出来ると説明を受けました。「焼却」と「堆肥化」の違いについては、一般的に食品廃棄物は多くの「水分」を含み含水率は90%です。多くの水分を含むでそれらを燃やすことは、膨大なエネルギーを使い、温室効果ガスを大量に発生させることになります。

対して、「堆肥化」した場合は「焼却」に比べ、温室効果ガスを75%カットする事が出来、食品由来の堆肥を用いる事により「土壤」が良くなり「農産物」が良く育ち食べた人が健康になると説明されました。

◇『柘植駅前花壇』冬季モードに◇



柘植駅前の活性化、柘植駅利用客の増加を願って、11月8日(土)午前、産業交流部会員や、笑みの会、ならびに有志ら6名が参加して、ビオラ・パンジー・葉ボタンの植え付け、観光看板の水あか落とし、桜の剪定、喫煙スペースの充実などの駅前美化作業に取り組みました。この活動は、「JR草津線地域サポートー支援事業補助金」(滋賀県より)を活用しつつ、産業交流部会やその他有志をもつて柘植駅構内外の美化などを不定期で実施しています。三重県で最初に出来た鉄道駅である柘植駅へ来たる40周年を目標にしてゆきたいと考えています。興味のある方は、産業交流部会までお問い合わせください。

一緒に活動を進めましょう。



クリスマスコンサート 2025

毎年12月恒例の『クリスマスコンサート』
が12月20日(土)市民センターホールにて
開催されました。【教育文化部会・主催】
今回もサンタ装束の増岡部会長の司会で、



宮田会長の開会挨拶後、ギターマンドリンクラブ・たんぽぽの演奏からスタート。ひまわり／アルハンブラの思い出／エデンの東／もみの木メドレー／続いてのグループは「アップル」保育園児から小学校低学年のこどもたちがクリスマススペシャルパフォーマンス・ジングルベルほか披露／休憩後ジャズバンド Happy Friends Orchestra がサンタが街にやってくる／ホワイトクリスマス／ウインターワンダーランド／きよしこの夜を演奏／そして、オジサングループの「タカシーズ」が世界にひとつだけの花を歌いました。



2回目の休憩後トリは Green Leaves／赤鼻のトナカイ／旅人よ／手のひらを太陽に／愛の賛歌／ドナウ川のさざなみをピアノ／二胡／アコーディオン／マンドリンで演奏。5つのグループに依るパフォーマンスに約80人余りの老若男女の観客から拍手喝采の一日でした。

柘植駐在所・新駐在員の御紹介

三重県伊賀警察署 地域課 地域係

柘植駐在所 巡査 木下 真一



私の紹介をさせていただきますと、出身は名張市で、赤目四十八滝が有名な赤目町で育ちました。

次に、趣味はドライブ・ラーメン屋巡りです。休暇日にはよく奈良県等にラーメンを食べに行っています。また、アニメも好きなので東京の秋葉原へたまに行ったりもして、独身生活を謳歌しています。

改めまして、柘植地区の駐在さんとして、みなさんが安心安全に過ごせるよう活動してまいりたいと思っております。パトカーを見かけた時や、駐在所の事務所等にいるところを見かけた際等、気軽にお声を掛けただけたら幸いです。

まだまだ未熟なところはありますがあくまでも年齢は39歳で今年9月で40歳になります。伊賀警察署での勤務は4年目であり、異動前はゆめが丘交番に勤務していました。

◆ ◆ 2026年 2月度会議 行事日程 ◆ ◆

2月3日 (火) 9時半～	センター長会議／支所
2月3日 (火) 19時～	人権同和問題地区別懇談会
2月5日 (木) 19時半～	教育文化部会
2月6日 (金) 19時～	健康福祉部会
2月9日 (月) 14時～	まち協役員会
2月11日 (水) 19時半～	生活環境部会
2月12日 (木) 19時～	12区連絡協議会
2月27日 (金) 13時～	広報等配布日（3月分）

★★ 編集後記 ★★

梅が香にのつと日の出る山路哉【松尾芭蕉】

【小林一茶】

【梅】バラ科サクラ属の落葉広葉樹の小高木

中国原産／弥生時代の遺跡から炭化した種子が発見され、奈良時代に遣唐使が中国から持ち帰った記録有り。1～3月、葉の出現に先立ち芳香の有る5枚の花弁からなる花を咲かせる。花色は白／薄紅／紅色等多彩で一重咲き／八重咲き等園芸品種も多く現在300品種を優に超える。再生力が強く剪定すると新芽が直ぐ伸びて来る。対して、桜の方は剪定すると傷口から腐り易い。これを対比して『桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿』と云われる所以（ゆえん）は此処に有ります。

▼5～6月に直径4cm程の黄緑色の球形の果実を付ける。此の実は梅雨過ぎに熟し鮮やかな黄色に成り柔らかくなつて特有の甘酸っぱい香りを放つ。梅が熟す頃の長雨が続く時期を「梅雨」と呼ぶ由来。実が多過ぎると熟す前に余分な実を自ら落とす生態が有る。未熟果は青酸配糖体のアミグダリンという有毒成分を含み、加工要。

約20年、三重県警察に勤めてまいりましたが、ほとんどが住民の方と接する機会の多い地域警察に主として勤務してきました。

柘植駐在所に住み始めて、約一ヶ月が過ぎましたが、まだ分からぬこともありますので、色々と覚えていきたいと思つております。

▼梅干の効能・クエン酸や梅リグナン（強い抗酸化力で老化抑制）が豊富。疲労回復／食欲増進／免疫力向上／便秘解消／高血圧糖尿病予防／ウイルス対策等「食べる薬箱」と呼ばれる程多彩な効能が期待出来るが塩分多く適量摂取要。「塩梅」（あんばい）は元々梅と塩の加減が旨くいいた事を表した言葉であるが良い加減や調整を意味する語彙として使われ「ええ塩梅（あんばい）や」何事も塩梅（あんばい）が大事です。（清水）